

科目名		国際政治学特殊講義Ⅰ	
担当教員	小笠原高雪	科目区分	選択必修科目
開講区分	前期	単位数	2単位
曜日時限	火曜・1時限	開講年次	1年
到達目標	国際政治の歴史と理論に対する理解を深めるとともに、現代の政策課題を批判的に検討する力を養う。		
授業概要	教科書の講読を中心とする。あらかじめ決められた履修者による報告、全員参加を前提とする質疑と討論、小笠原による補足と総括、次回の主題についての導入的な説明、のサイクルが基本となる。ときには映像教材も利用して、主題に対する理解を深める。		
授業計画			
回数	内容		
第1回	科目ガイダンス		
第2回	国際政治とは何か		
第3回	主要な概念：主体、パワー、国際社会		
第4回	分析のレベル：個人、国家、システム		
第5回	アプローチ：リアリズムとリベラリズム		
第6回	帝国と主権国家体系		
第7回	勢力均衡政策と第一次大戦		
第8回	集団安全保障と第二次大戦		
第9回	冷戦の起源と展開		
第10回	国内紛争と国際介入		
第11回	グローバル化と複合的相互依存		
第12回	情報革命と非国家主体		
第13回	東アジアの新たな焦点：北朝鮮		
第14回	東アジアの新たな焦点：中国		
第15回	全体総括		
準備学習等 (課題・予習・復習・調査等)	教科書の該当部分を通読し、疑問点を整理してくること。その他の指示は授業のなかで与える。		
評価方法・基準 ・講評の方法	報告・質疑・討論を中心とする平常点(70%)、学期中に数回課す小レポート(30%)、の合計による。講評は電子メールで伝える。		
テキスト・参考書	教科書として、ジョセフ・ナイ/デイヴィッド・ウェルチ(田中/村田訳)『国際紛争：理論と歴史』原書第10版(有斐閣、2017年)を予定しているが、最終的には履修者と話し合って決定する。		
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	肯定的な評価が多かったので前年度の踏襲を基本とするが、なかでも双方向的な授業方法について一層の充実を考えている。		
学生への メッセージ			
授業に参考と なるサイト			
関連する画像			
その他・備考			